

日本生活体験学習学会事務局報告

永田, 誠
大分大学: 准教授

<https://doi.org/10.15017/4763166>

出版情報 : 生活体験学習研究. 19, pp.67-70, 2019-07-31. 日本生活体験学習学会
バージョン :
権利関係 :



日本生活体験学習学会 事務局報告

2018年度

I 理事会会議日程

- 第1回理事会 2017年9月1日
(2017年度第6回理事会合同開催)
宮崎市民プラザ
- 第2回理事会 2017年11月3日
福岡市立大名公民館
- 第3回理事会 2018年1月28日
福岡市立大名公民館
- 第4回理事会 2018年4月8日
福岡市立大名公民館
- 第5回理事会 2018年7月1日
福岡市立大名公民館
- 第6回理事会 2018年9月7日
庄内生活体験学校

II 会員実数

全86名 (2018年7月31日 現在)
個人会員 85名 法人会員 1名

III これまでの活動

- 第19回研究大会の開催
2017年9月2日(土) - 3日(日)
於 南九州大学宮崎キャンパス
- 学会誌第18号の発行
2018年7月30日 発行
- 地方セミナーの開催
2016年度より、地方セミナーを学会の社会貢献活動として位置づけ、会員からの生活体験に関する企画を募集し、学会との共催事業として実施することとなった。
2017年度に引き続き佐賀県教育委員会主催のコミュニティ・スクール研究大会が開催されることになったため、協力との位置づけのもと、下記の通り、実施した。
日時：2018年8月23日(木) 14:00~17:00
会場：佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター アバンセ

主催：佐賀県教育委員会
協力：日本生活体験学習学会

○事務局だよりの発行

2017年10月3日 第26号 発行

2018年2月2日 第27号 発行

○研究会の開催

本年度も、昨年度に引き続き、学会プロジェクト研究として「新しい学校をモデルとした地域が参画する体験活動の位置づけ」をテーマに、新しい学校像としてコミュニティ・スクールに着目し、プロジェクト研究部会を中心に理事会後に研究会を開催した。

IV 総会・理事会での決定事項

(1) 第19回総会における決定事項

事務局より2017年度の学会会務報告ならびに決算報告がなされた。次いで、会計監査の関弘紹会員から監査報告がなされ、了承された。また、2017年度の学会活動報告として、(1)学会との共催事業(地方セミナー)について、(2)プロジェクト研究について、(3)学会誌の発刊について、(4)研究大会の開催について、各担当理事より報告が行われた。

上野選挙管理委員長より、2018-2019年度学理事選挙結果について報告が行われ、異議なく承認された。その上で、事務局より、2018-2019年度役員体制について、総会に先立って行われた理事会の決定に基づいて提案が行われ、異議なく承認された。

次に、事務局より、学会設立20周年記念事業についての理事会提案が行われ、異議なく承認された。承認を受け、事務局より、学会設立20周年記念事業に伴う学会会則の変更と規程の新設について提案され、協議の結果、一部修正の上、承認された。

その後、事務局より、2018年度予算について提案され、異議なく承認された。

報告事項では、2018年度学会活動として、各部会より、(1)学会との共催事業(地方セミナー)について、(2)プロジェクト研究について、(3)学会誌の発刊について、各担当理事より報告が行われた。

最後に、事務局より、次回研究大会は、学会20周年記念大会と位置づけ、9月8日(土)・9日(日)の2日間にわたり、福岡県飯塚市(旧庄内町)の庄内生活体験学校にて開催する予定となっていること

が報告された。また、次回研究大会は学会設立20周年の記念大会となるため、理事会が主体となって庄内生活体験学校と協議しながら企画を進め、担当理事として古賀会長と相戸副会長が選任されたことも報告された。

(2) 第1回理事会での決定事項

第1回理事会は、新旧理事の出席により、2017年度第6回理事会との合同開催とし、2017年度決算及び2018年度予算、総会議案等について協議され、協議の結果、一部修正等の上、了承された。また、新旧理事の顔合わせならびに互選による会長選出が行われた。

加えて、学会誌第18号の発刊について、学会誌編集規程等に基づき、2017年10月31日(火)(必着)にて学会誌エントリーを行いたいことが提案され、異議なく了承された。

また、事務局長より、研究大会終了後に、総会資料ならびに学会誌第17号の送付に併せて「事務局日より第26号」の発行の提案があり、内容ならびに担当については了承された。

(3) 第2回理事会での決定事項

第2回理事会では、以下の7点が協議ならびに確認された。

- ① 会務報告では、2名の入会について、協議の上、承認された。
- ② 総会議案の送付・承認について、総会は定足数に至らなかったため、総会資料を会員に送付し10月末日まで受け付け、期日までに異議申し立てがなかったことが報告され、総会議案が提案の通り承認された。
- ③ 第19回研究大会決算報告が行われ、異議なく承認された。
- ④ 2018-19年度理事会体制について、推薦理事として、末崎雅美会員、山城千秋会員、大村綾会員の3名とすることが提案され、承認された。推薦理事を加えた理事体制としては、以下の通りである。

会長：古賀倫嗣

副会長：上野景三、相戸晴子

理事：相戸晴子、石村秀登、井上豊久、

上野景三、大村綾、岡幸江、
古賀倫嗣、末崎雅美、長尾秀吉、
永田誠、山崎清男、山城千秋、
横山正幸

会計監査：関弘紹、正平辰男

事務局：(事務局長) 永田誠・(事務局次長)

大村綾・(事務局補佐) 菅原航平

- ⑤ 2018年度活動方針として、年間スケジュールならびに各部会の本年度の活動方針・計画について確認が行われた。
- ⑥ 学会との共催事業(地方セミナー)について、社会貢献部会の活動方針に基づき、2017年12月1日に文書送付、2018年1月12日〆切にて募集することが決定された。
- ⑦ 事務局より、学会誌第18号の発刊について10月末日にエントリーを締め切り、論文5本と研究ノート1本のエントリーがあったことが報告された。すべて期日内に所定の手続きを経ているため、計6本のエントリーが異議なく了承された。

(4) 第3回理事会での決定事項

第3回理事会では、以下の6点が協議ならびに確認された。

- ① 学会との共催事業(地方セミナー)について、期限までに地方セミナーの応募がなかったことが報告された。これを受け、本年度は、①研究大会に注力すること、②昨年度の継続として、佐賀県教育委員会からの協力依頼があれば対応することの2点が協議の上、確認された。
- ② 学会誌第18号の発刊について、①これまでのプロジェクト研究に関する議論の総括として特集テーマを組むこと、②書評図書として、『持続可能な地域づくりと学校』(添田祥史会員共著)と『地方に生きる若者たち』(上野景三会員共著)の2冊とすることが決定された。
- ③ 古賀会長より、学会20周年研究大会の協議内容が報告され、学会20周年と生活体験学校30周年の両方の位置づけにて開催することが確認された。また、自由研究発表も例年通り、実施することが決定され、募集を下記の通り行うことが了承された。

- 会員送付：2018年2月16日（金）
 - エントリーメ切：2018年3月31日（土）
 - 発表要旨メ切：2018年7月31日（火）
- ④ 学会表彰候補者の募集について、事務局より、学会表彰候補者の募集に関する日程ならびに書類が提案され、下記の通り、了承された。
- 会員送付：2018年2月16日（金）
 - 募集メ切：2018年3月31日（土）
- ⑤ 学会名誉会員の推薦について、学会名誉会員選定に関する内規等を踏まえ、候補者条件を満たす会員の選出・提案がなされ、協議の結果、正平辰男会員、横山正幸会員の2名を候補者とすることが承認された。
- ⑥ 学会20周年記念資料集の作成・発行について協議がなされ、学会設立から現在までの「学会通信」「事務局だより」を電子ファイル化したCD-ROMを作成し、次号の学会誌19号の付録として会員に配付することが了承された。

(5) 第4回理事会での決定事項

第4回理事会では、以下の5点が協議の上、承認された。

- ① 事務局より、1名の入会、2名の退会の申出が報告され、それぞれ異議なく承認された。
- ② 学会誌第18号の発刊について、相戸紀要編集部会長より、論文4本の査読の結果、採択1本、修正採択2本、実践ノートへの種別変更1本となったことが報告された。
- ③ 第20回研究大会（学会設立20周年記念大会）について、事務局より、自由研究発表のエントリーについて4本のエントリーがあった旨が報告された。その上で、エントリー者の発表資格の確認等が行われ、異議なく承認された。また、①古賀会長より、研究大会シンポジウムを「学会20周年記念シンポジウム」と位置づけること、②相戸研究大会担当理事より、懇親会場が提案され、了承された。これらを踏まえ、研究大会要項を作成し、5月中旬をめどに会員に送付することが決定された。
- ④ 学会表彰候補者の募集の結果について、事務局より、期限までに学会表彰候補者の会員からの推薦がなかったことが報告された。それを踏

まえ、理事会にて協議を行い、「初めての取り組みであり、表彰対象をどこまでとするかなどが曖昧であった」などの指摘があり、議論の結果、学会3役を中心に再検討を行い、次回理事会に提案することとなった。

- ⑤ 学会名誉会員候補者への意思確認結果について、古賀会長より、候補者の両名より、快諾が得られた旨が報告された。学会名誉会員候補者として、理事会より両名の推薦を総会に諮ることが決定された。
- ⑥ 学会リーフレットの改訂について、修正案について協議を行い、掲載する写真については、個人情報取り扱いに十分に留意した上で、理事等を中心に協力を仰いでいくことが確認された。その上で、リーフレットは、7月末日に納品・支払完了とすることが了承された。
- ⑦ 学会20周年記念資料集（『学会通信』等のアーカイブ化）について、事務局より、資料に基づき説明がなされた。正式な見積等は、次年度改めて業者に依頼するが、次年度予算として、「IV紀要発行費 ①紀要印刷費」に10万円程度を増額して計上することが承認された。

(6) 第5回理事会での決定事項

第5回理事会では、以下の6点が協議の上、承認された。

- ① 事務局より、これまで様式がなかった法人会員用の入会申込書について提案がなされた。法人会員の定款などについて入会時の提出は必要なしとすることが確認され、様式が承認された。今後は、法人用の入会申込書もHPに掲載する。入会の問い合わせについては個人・法人を事務局にて確認の上、対応することとなった。
- ② 学会誌第18号の特集テーマについて、長尾プロジェクト研究担当理事より、シンポジウムの目的と各登壇者からの事例報告の原稿はすでに完成していることが報告された。
- ③ 第20回研究大会（学会設立20周年記念大会）について、古賀会長より資料に基づき学会シンポジウム企画案について説明が行われた。シンポジウムは、生活体験をキーワードとして10年

を目安にラウンドを区切りつつ、庄内生活体験学校について正平会員に、実践交流大会やその他の実践面を相戸副会長に、理論面を上野副会長にお話しいただくように構成していることが説明された。

- ④ 学会表彰候補者の選考結果について、事務局より、前回理事会の決定内容を踏まえ、資料に基づき、選考基準（申し合わせ）について確認がなされた。その上で、古賀会長より、選考の結果、井上豊久会員、桑原広治会員の2名を推薦することが提案され、了承された。
- ⑤ 総会議案ならびに2019年度予算案について、事務局より提案された。2019年度予算案については、①今年度増額されていた研究大会関係の予算を通常額に戻すこと、②20周年記念の資料

等の掲載のため紀要関係予算を増額すること、③理事選挙の年度となるため、それにかかる郵送費を確保することの3点が提案され、異議なく承認された。

- ⑥ 学会との共催事業（地方セミナー）について、上野理事より地方セミナーとして佐賀県コミュニティ・スクール研究大会への協力依頼があったことが報告され、異議なく承認された。

(7) 第6回理事会での決定事項

第6回理事会では、2018年度決算及び2019年度予算について協議されるとともに、総会議案についての確認を行い、協議の結果、了承された。

（文責：永田 誠）